

近代化と西洋化

“1639年、江戸幕府が鎖国政策を始めると、外国人の日本への出入りはオランダ人以外ほとんど限られ、日本人も外国へ出ることを完全に禁止されました。”オランダ人は日本人に色々なものを教えてくれました。例えばオランダ人から医学とか、科学を学びました。1853年にアメリカと日米和親条約を結び、開国することにしました。それから、それぞれ日本の近代化と西洋化が起こっていました。

アメリカの司令長官ペリーは日本に訪ねた1年以内に、日本は開国することを決めました。ペリーは1854年に最初の日米条約を開発。そしてアメリカから新しいテクノロジーは作りました。例えば1872年に日本で初めての鉄道が東京の新橋と横浜の間に開通しました。日本は鉄道のテクノロジーを上げなければ、日本の高尚の運輸を想像しないと思います。日本の□□□のために日本は輸出入が始まるようになりました。他の国と比べると、日本の□□□□□□化を遅く始めました。遅く始めましたなのに、日本は非常に影響力の国になっていました。

日本の近代化と西洋化は強く始めたなのに、第一次世界大戦と第二次世界大戦が起こった時に、近代化と西洋化を減りつつありました。アメリカとかイギリスと張り合うために第二次世界大戦が終わった後で日本人は再構築を始めました。1940年代後半と1950年代初頭に日本は基本産業を売り広めることができました。1955年では日本は生産の戦前のレベル勝るようになりました。

日本の近代化の一つの興味深い点は日本の電機のエネルギーの周波数 (Electric Power Frequency)。日本の電気の経済はは1883年の東京の電気の会社に始めました。その電気は西日本をパワーをします。そして1888年に大阪の電気の会社は東日本をパワーをします。それはいいけど、1897年の周りに東京の電気の会はドイツのAEGから50 Hz alternating-current generators を取り込んでいました。同時に大阪の電気の会社はアメリカのGEから60 Hz

alternating-current generators を取り込んでいました。今でもこれはまだ問題を発生しました。例は東北地方太平洋沖地震です。その地震が起こった後で西日本の電気制度は被害を受けました。東日本の電気は 60Hz だから、電気を共にわけ会いませんでした。